

消防計画

目的

この計画は、消防法第8条第1項の規定に基づき、当事業所の防火管理について必要な事項を定め、火災等の災害の予防と人命の安全および被害の軽減を図ることを目的とし、この計画で定めたことは当該事業所に勤務し、または出入りするすべての者が守らなければならない。

管理権原者と防火管理者の権限

管理権原者

氏名 _____ 管理権原者は防火管理業務について、すべての権限および責任を有する。

防火管理者

氏名 _____ 防火管理者は、消防計画の作成および実行に関し、一切の権限を有する。

自衛消防隊の編成と任務

自衛消防隊長

氏名 _____

火災時	火災時の全般の指揮をとる。
平常時	普段から避難や防火のために必要な構造および設備の維持管理をおこない、必要に応じ従業員に命じて、防火のための措置を講じる。

通報連絡担当リーダー

氏名 _____

火災時	119の通報およびその確認や指示、関係先への必要事項の連絡や火災情報の収集にあたる。 防災センター等へ連絡し、その後必要な情報を自衛消防隊長らに伝達するとともに、他の班に対する連絡支援等を必要に応じておこない、到着した消防隊へ情報提供する。
平常時	119通報や情報収集の方法について習熟しておく。

初期消火担当リーダー

氏名 _____

火災時	消火器、水バケツ、屋内消火栓等を火災状況に応じて、積極的に使用して初期消火をおこなう。 消火に至らず天井に燃え移った場合は、消火を中止して避難する。
平常時	消火器の位置や、消火設備の使用方法を把握しておく。

避難誘導担当リーダー

氏名 _____

火災時	火災を覚知すれば、直ちにその状況に応じて最適避難経路を判断し、大声を出すなどしてリーダーシップを発揮して安全な場所に誘導する。 負傷者が発生した場合には、救護に当たるとともに安全な場所に搬送する。
平常時	避難経路は常に整理整頓し避難の支障にならないように保つ。

消防訓練の実施

消防訓練は年_____回以上実施する。

通報訓練 模擬119番通報、火災想定場所からの状況報告、警報設備の確認

消火訓練 消火器や消火設備の取扱い、設置位置の確認

避難訓練 模擬の避難誘導、避難経路の確認、防火扉の閉鎖確認、指示命令事項の伝達

防災教育について、消防計画の内容については、従業員に対する研修で周知を徹底する。特に新入社員、派遣社員、パートタイマー等については採用時に研修をおこなう。

消防用設備等の点検

消防用設備等の法定点検は、年2回おこない、_____年に1回消防機関に報告する。

消防用設備等の法定点検は、必ず防火管理者が立ち会い、その結果について定期的に消防本部に報告する。

防火管理者は、不備欠陥部分の改修について管理権原者の指示をうけて是正促進を図らなければならない。

防火管理者および従業員等は、消防用設備等の他、建物の構造や防火避難施設の機能について自主点検をおこなう。

(消防設備点検業者名) _____ (電話番号) _____。

防火上の構造の維持管理

防火管理者および従業員等は、避難施設および防火施設の機能を有効に保持するため、次の事項を遵守しなければならない。

避難口に設ける戸は、容易に解錠や開放ができる外開きのものとし、避難上有効な幅員を確保すること。

防火戸や防火シャッターは常時閉鎖できるようにその機能を有効に保持し、閉鎖障害となる物品等を置かないこと。

避難施設または防火施設の機能を妨げるような物品等を発見した者は、直ちに除去しなければならない。

収容人員の管理

防火管理者は、当該防火対象物の収容能力を把握し、過剰な人員が入場しないように従業員に徹底する。

一時的な催物等により、混雑が予想される場合には、避難通路の確保や誘導員配置など必要な措置を図る。

工事中の安全対策

防火管理者は、工事をおこなうときは工事中の安全対策を策定し、事前に消火等できる体制等を整えること。

防災教育等

防災教育を定期に実施し、従業員等に防火管理体制の周知を図ること。

防火管理者は、朝礼時等に防災に関する話を取り入れ、従業員等の防災意識の高揚を図ること。

地震対策

地震が発生した場合は、身の安全を守ることを最優先とし次の対応をおこなう。

テレビやラジオ等により地震情報の収集をおこない、周辺の状況を把握すること。

発災時の一時避難場所は、_____とする。

火気設備や器具は、元栓や器具栓を閉止または電源を遮断すること。

負傷者が発生した場合には、応急手当をおこなうとともに、負傷程度に応じて医療機関へ搬送すること。

落下・転落・崩落等のおそれのある物品は、補強等をおこなわなければならない。

地震後に屋外へ避難させる必要があるときは、自衛消防隊長の指示のもと、避難先を明瞭にするとともに避難人員等を把握する。

消防機関との連絡

管理権原者等は、日ごろから消防機関と連絡を取り防火管理体制について連携を図ること。

次の業務について消防機関へ報告・届出をおこなうこと。

防火管理者選任(解任)届	防火管理者を選任または解任したとき。
消防計画作成(変更)届	消防計画を作成または、内容に変更があったとき。 (・自衛消防隊の変更 ・用途変更や大規模増築があったとき など)
消防訓練実施届	消防訓練を実施するとき。指導が必要な場合は消防と事前相談が必要。
消防用設備等点検結果報告書	消防法で定めるとおり定期的に報告が必要。

その他

防火管理者は、消防へ報告または届け出した書類や消防設備工事に関する書類、その他防火管理に関する書類を防火管理維持台帳としてファイルに綴り保管すること。

当事業所の消防設備 (設置されている消防設備に○を記入すること)

消火設備	・消火器 ・屋内消火栓設備 ・屋外消火栓設備 ・他 ()
警報設備	・非常警報設備 ・自動火災報知設備 ・他 ()
避難設備	・避難器具 ・誘導灯 ・他 ()
その他設備	・連結送水管 ・他 ()

防火管理業務の委託状況 (警備会社や管理会社などに防火管理を委託しているか)

委託している。(裏面の記入が必要)

委託していない。

自主点検チェック表

項目	内容	/	/	/	/	/	/	/
避難障害	避難経路上に支障となる物品はないか							
	防火戸等は正常に閉鎖するか							
	扉は内部から容易に開けられるか							
	階段は適正に管理されているか							
火気管理	安全装置は機能するか							
	配管等に亀裂等はないか							
	グリスフィルターは清掃されているか							
	火気周囲は整理されているか							
消防設備	機器の使用を妨げる物品はないか							
	消灯等の不具合はないか							
	ベル停止状態になっていないか							
	適正位置から移動していないか							
その他	配線がたこ足接続になっていないか							
	ダンボール等を屋外に放置していないか							
	危険物は適正に管理されているか							